

議町さす 寝屋川市議に謝罪文 セクハラまがい行為で

すさみ町議会上田順太議員(58)無所属が、大阪府寝屋川市で10月にあった両市町の議員同士の交流会で、寝屋川市の女性市議(60)にセクハラまがいの行為をしたことが分かった。女性市

直後の出来事だったという。上田議員によると、2人は同じ方を向いていて、上田議員は女性市議の腰付近に両手を回して持ち上げた。交流会には食事やアルコールが出ていたが、酔った状態ではなかったという、現場でもこの市議に謝ったという。

取材に対し、上田議員は「(女性市議は)同じテーブルの隣に座っていて、同じ大学を卒業したという共通の話題があり、冗談も言い合っていた。自分ではそれまでのコミュニケーションの延長というつもりだったが、安易にやってしまった」と話した。謝罪文は、自身の軽率な行動をわび、今後は同じようなことがないようにすると誓う内容としている。

岡本議長は取材に「上田議員にはきつく注意した。10月31日に寝屋川市を訪ね、市議会議長に謝罪文を手渡した。このよつなことは二度とないようにする」と話した。両市町は1976年5月に友好都市提携をしており、今回の交流会は、議員が寝屋川市にある廃校舎の活用事例を視察するなどした後に催した。

議が怒り、対応を求められた町議会が協議し、上田議員が謝罪文を書いた。それを岡本克敏町議会議長(63)が市議会側に手渡したという。

交流会は10月24日。終了に際し、出席者で万歳三唱した